



エネルギーを 上手に使って快適ライフ

いま、地球規模の温暖化による環境の変化が懸念されており、エネルギー消費により発生する二酸化炭素等、温暖化の原因とされる物質（温室効果ガス）の抑制に向けた取り組みが必要になっています。

私たち自身の生活環境を守るため、ちょっとした工夫から省エネをはじめませんか。

台所（キッチン）で地球に優しく

お湯は使う都度沸かす

電気ポットによる長時間の保温は意外に電気を消費します。お湯を「使う都度」コンロで沸かした方がお得です。



お鍋のふたを 上手に使いましょう

お湯を沸かすときは、鍋にふたをすることで早く沸きます。また煮物をするときは、落としふたを使うと、鍋の熱を有効に利用でき、味もしみ込みやすくなります。



火にかけるときは 鍋底の水滴を拭いてから

鍋底の水滴を蒸発させるための、余分なエネルギーを節約しましょう。



火加減の調節は 料理上手

鍋底からはみ出ない火加減を心がけましょう。こまめな火加減の調節は美味しい調理にもつながります。

バーナーのお手入れも忘れずに

バーナーが汚れたままでは効率が悪くなります。時々お手入れをしましょう。お手入れ後は、ゴトクやバーナーを正しくセットしましょう。



機器の買い換えのときには効率の高い製品を選びましょう。
ガス調理機器も高効率なものが数多く販売されております。



ガス調理機器も効率がアップしています



調理機器の効率アップについて

毎日お使いいただいているガスコンロは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき、エネルギー消費効率の目標が定められています。

エネルギー消費効率とは、エネルギーがどれだけ有効に利用されたかを示す数値で、現在市販されているガスコンロの多くが目標の効率に達しています。

ガスだから省エネルギー

電気は発電時に熱を捨てたり、送電時にロスがあります。ガスならエネルギーがそのままご自宅に届くから、ガスコンロのエネルギー利用効率は電磁調理器より優れています。



コンロの買い替え時にはここをチェック

- ガスコンロのカatalogや展示品の近傍には、エネルギー消費効率が表示されています。表示された数値を参考に高効率なものを選びましょう。
- エネルギー消費効率は、ガスコンロ、ガス温水機器（給湯器、風呂釜）、ガスFF暖房機をはじめ、身近な家電製品、石油機器にも表示されています。

〈表示例〉省エネラベル

(表示の対象は、ガス種が13Aの場合)

	省エネ基準達成率	エネルギー消費効率
	100%	55.6%
目標年度 2006年度		

〈表示例〉機器カタログ

ビルトインコンロ仕様		
型式	AB-52WC	AB-D48WS
希望小売価格(円)		
外形寸法 (mm)	257×740×494	257×740×494
質量 (kg)	23.0	22.0
エネルギー消費効率(%)	大	57.0
	中	56.6
	小	53.0

効率だけでなく機能性もアップ

ガスコンロは効率がアップしているだけでなく、安全機能や便利な機能が搭載されている機種が数多くあります。



- ガラスストップコンロ・・・美観に優れ、お手入れも簡単です。
- 天ぷら油過熱防止装置・・・油の温度が上がりにすぎると自動的に火が消えます。
- 温度調節機能・・・鍋底の温度を検知して設定した温度を保ちます。
- 消し忘れ防止機能・・・点火後、一定時間で自動的に火が消えます。
- 立消え安全装置・・・万が一、火が消えてしまった場合、ガスをストップします。現在市販されているすべての家庭用途のコンロに搭載されています。

上記以外にも様々な機能があります。